

平成28年度秋の特別展

むなかたの山岳信仰

（ムナカタの考古学6）



平成28年

会期：9月27日(火) ▶ 11月13日(日)

会場：海の道むなかた館 (宗像市郷土文化学習交流館)

休館日：月曜及び10月11日(火)ただし10月10日(月)は開館

開館時間：午前9時～午後6時 入場料：無料

主催：宗像市・宗像市教育委員会

お問い合わせ 海の道むなかた館(宗像市郷土文化学習交流館)
〒811-3504 福岡県宗像市深川588 TEL/0940-62-2600 FAX/0940-62-2601



アクセス
車で：九州自動車道若宮インターから約20分
公共交通機関で：JR東郷駅前バス停より
宗像大社経山・神淡波止場または光陽台6丁目
行きバス(約20分)→宗像大社前下車

平成28年度秋の特別展

むなかたの山岳信仰 ~ムナカタの考古学6~

古来より海山川に囲まれ過ごしてきた私たちの祖先は、自然の恵みに感謝し、また、風や雨などの自然現象に目に見えない大きな力を感じ、畏敬の念を抱きながら日々を過ごしてきました。これらは自然崇拜と呼ばれ、我が国の歴史文化を形成してきた要素のひとつです。これらのなかでも特に山々の持つ神秘的な力を崇拝するようになったものが山岳信仰と呼ばれます。

九州では古来より英彦山や宝満山、背振山が山岳信仰の対象となり、宗像市では湯川山、孔大寺山、金山、城山からなる四塚連山も山岳信仰の対象でした。北部九州の山々から数多く発見されている経筒などの経塚埋納品は、この地の山岳信仰が盛んだったことを物語っています。また、山岳信仰が役小角(えんのおづぬ)(役行者(えんのぎょうじゃ))が開祖と言われる修験道は、山岳信仰と仏教が融合し成立した日本独自の宗教で、北部九州の山々では山伏たちによる厳しい修行が行われました。

今回の特別展では、国・県指定文化財を含む約50点の資料を展示するとともに、近年各地で注目されている山岳信仰について迫ります。

山田経塚 50年ぶりの里帰りが実現



宗像市山田経塚出土品
東京国立博物館

英彦山

大自然の中で
捧げられた祈り

国指定重要文化財
英彦山北岳山頂出土金銅製如来立像
英彦山神宮



ふじわら 富地原出土瓦経

56億
7000万年後の
ために地中に
埋めた!?

上・中 富地原出土瓦経片
宗像高校
下 瓦経片
福岡教育大学



鎮国寺

刻まれた
900年前の
「宗像」の文字

福岡県指定文化財
銅製経筒
鎮国寺



その他展示品

- 伝白山神社経塚出土品
九州歴史資料館
- 修験の法具一括
鎮国寺
- 一筆一切経
英彦山神宮
- 池田孔大寺遺跡出土品
宗像市教育委員会

特別展記念講演会

宝満山とむなかた山岳修験

講師: 森 弘子(宗像市文化財保護審議会委員)

日時: 10月2日(日) 10:00~12:00

中世山林寺院 首羅山遺跡の世界

講師: 江上 智恵(久山町教育委員会)

日時: 10月30日(日) 13:30~15:30

いずれも会場は海の道むなかた館講義室、定員先着80名(事前申し込み不要)。聴講料無料。